

本製品を安全にお使いいただくために、本書は必ずお読みください。  
OB-4は雨や湿気にさらさないでください。

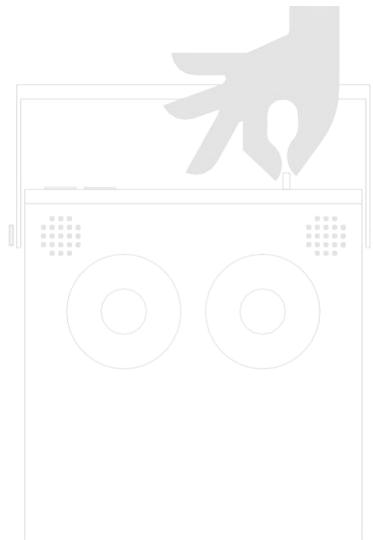
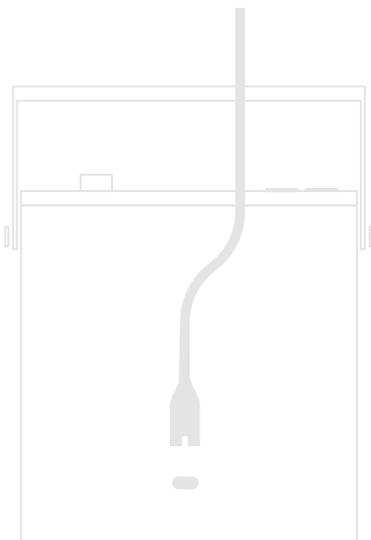
音量を上げるときは注意し、大音量で長時間、スピーカーに近づきすぎないでください。

誤動作や故障を防ぐためOB-4と他の機器を接続する前に、すべての機器の電源を切ってください。

OB-4のアイドル時消費電力は非常に低くなっています。ただし、長期間使用しない場合は、プラグを抜くことをお勧めします。

動作温度  
10°Cから35°C (50°Fから95°F)  
保管温度  
-10°Cから45°C (14°Fから113°F)  
相対湿度  
20%から80% 結露しないこと

## セットアップ



内蔵バッテリーは箱から出してすぐに充電できますが、初めてOB-4を使用するとき1~2時間の充電をお勧めします。

充電するには、電源コードを背面のインレットに挿入します。充電中LEDのライン入力は赤になります。充電が完了すると、赤いLEDが消灯します。

電源を入れるには、音量つまみを時計回りに回します。

OB-4を前後に傾けて、ディスプレイのバッテリーの状態を確認します。

## 設置



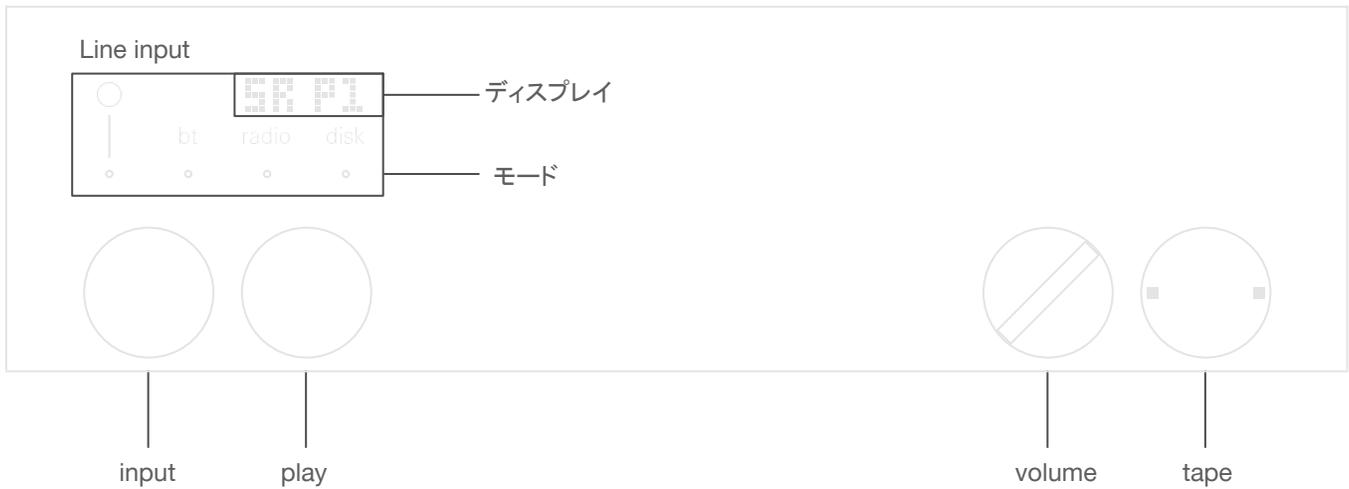
OB-4は、どこでも素晴らしいサウンドを奏でることができるように設計されています。

OB-4はテーブルの上や窓辺、棚などに置いて、部屋の中で聴いてください。

低音域を豊かにしたい場合は、バックパネルを壁や窓から10cmほど離すとよいでしょう。

OB-4の置き方としては、ハンドルを傾けて置くという方法もあります。

## インターフェイス



### input

inputボタンを押して、オーディオソースを選択します。inputボタンを押し続けると、マジック機能が有効になります。

### line input

line inputは、OP-1、OP-Z、ポケットオペレーターなど、3.5mmラインレベルのアナログオーディオ機器に対応します。

### play

bluetoothモードでは、再生ボタンを押すと再生/一時停止/スキップ/戻ることができます。ラジオモードでは、再生ボタンを押して次の放送局を検索します。

### volume

ボリュームノブはOB-4の音量を調節し、電源スイッチとしても機能します。ノブはモーター駆動で、Bluetoothで調整できます。

### tape

OB-4は、すべての再生を仮想2時間のマジックテープに記録します。

### 電源

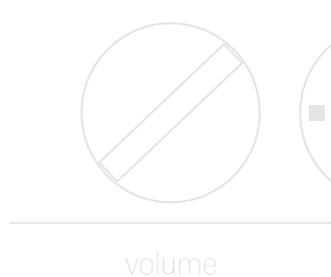
(スピーカー背面)  
AC100~240V。

## モード



inputボタンを押して、モードを切り替えます。  
line input、bluetooth、FM radio、diskの4つのモードがあります。

## line input



OB-4の音量を下げてください。line入力を行ってください。



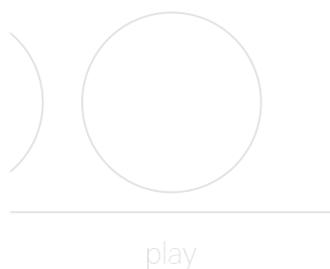
オーディオ機器との接続には、通常の3極ステレオオーディオケーブルを使用し、2極や4極のケーブルの使用は避けてください。

注:ライン入力中にLEDが赤く点滅している場合は、入力信号がクリップしていることを意味します。

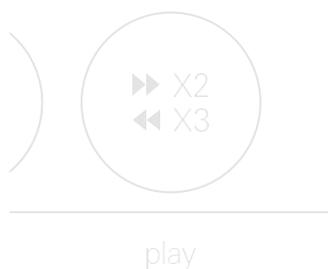
## bluetooth



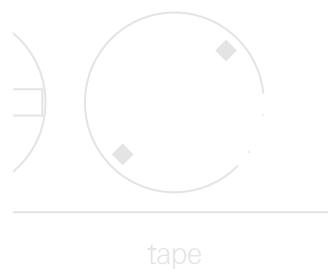
青色LEDの点滅は、OB-4がペアリング可能な状態であることを示します。



playボタンを押すと再生され、もう一度押すと一時停止します。



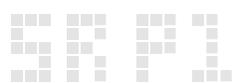
ダブルタップでトラックをスキップ、トリプルタップで前のトラックに戻ります。



tapeダイヤルを回すと巻き戻し、早送りができます。playをタップするとリアルタイムに戻ります。

スクラブやテープトランスポートについてはマジック機能をご覧ください。

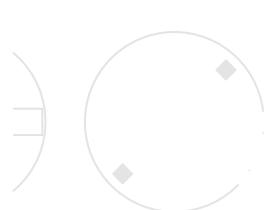
## radio



playボタンを押して、次に利用可能なFMラジオ局を検索します。画面には、現在のFM周波数とステーション名(利用可能な場合)が表示されます。



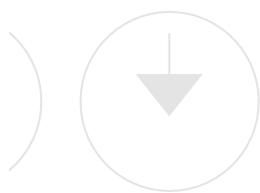
inputを押したままplayをタップして、FM帯域を逆方向に検索します。



tapeのダイヤルを回すと、巻き戻しや早送りができます。ラジオを聞き逃したときに巻き戻すのに便利です。再生をタップすると、リアルタイムに戻ります。

# disk

これは、リラックスするための機能を集めた実験的なモードです。



play

playを長押しして、さまざまな機能を切り替えます。



## 1. ambient

アンビエントは、あらゆるオーディオソースをリラックスできるサウンドスケープに変えます。アンビエントがスタートしたら、tapeダイヤルでスリープタイマーをセットしてください。

inputを押したまま、テープダイヤルを使用してミックスを調整します。

アンビエントに使用するソースを切り替えるには、inputを押し続けます。

ヒント: 任意の入力 (line in、bt、radio) で再生を押し続けると、アンビエントを直接有効にできます。input+playを押したままにして無効にします。

## 2.karma

マントラボックスとして OB-4を使用します。お香に火をつけ、プレイをタップして次のマントラにスキップします。

注: OB-4 Off-White™では、karmaはskkakraのgyil音楽に置き換えられています。音楽であなたの意識を満たしてください。

## 3.metronome

テープダイヤルを使ってテンポを変更することができます。

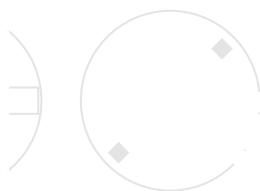
ヒント: 808メトロノームの場合、inputを押したままtapeダイヤルでピッチを調整し、inputとplayを押したままにするとディケイを調整することができます。

# マジック機能

inputボタンを押したままシフトキーとして使用すると、マジック機能が有効になります。

これらの機能を理解するには、実際に試してみるのが一番です。

# スクラブ



tape

tapeダイヤルで前後にスクラブする。

スクラブしても、tapeはバックグラウンドで記録を続けます。



表示矢印は、テープを使用していることを示しています。

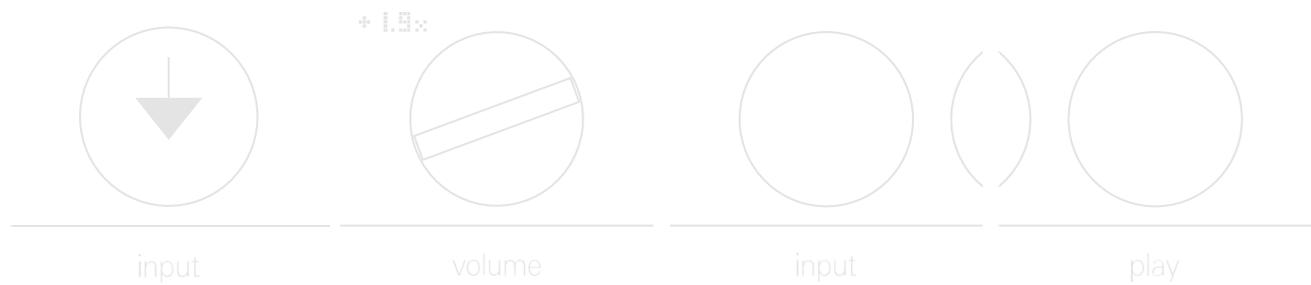


play

playボタンを押すと、リアルタイムに戻ります。

scrubはline in、bluetooth、radioの各モードで動作します。

# テープの再生と速度



inputを押しながら、ボリュームノブを動かすと巻き戻しやスロー再生ができます。

テープトランスポートを使用中に入力ボタンを離すと、新しい速度に再生が固定されます。

inputを押し続けると、通常  
の速度に戻ります。ディス  
プレイには+1.0xが表示さ  
れます。

再生を押してリアルタイ  
ムに戻ります。

テープは常に2時間記  
録を続けます。

## loop

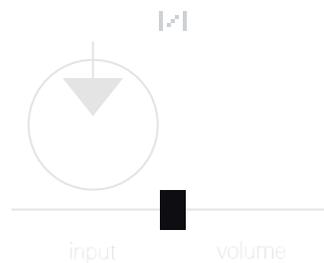
### record



入力ボタンと再生ボタンを押したままにして、ループを録音します。

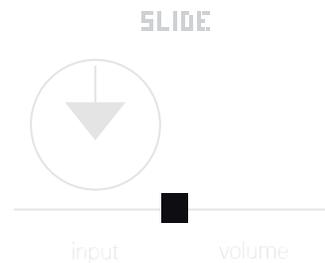
ループは、両方のボタンを押したときに始まり、ボタンを離れたときに終わります。

### length



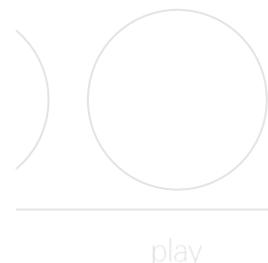
ループモードでは、inputを押しながら、volumeノブを使用してループの長さを変更できます。ディスプレイにループ長が表示されます。

### slide



playボタンを押したまま、volumeノブでスライドさせてループ位置を前後にスライドさせます。スライドはテンポロックされます。ディスプレイにループの位置が表示されます。

### exit



playボタンを押してループを終了します。playをもう一度押すと、リアルタイムにスキップします。

ループは、line in、Bluetooth、およびradioモードで機能します。

## beat match

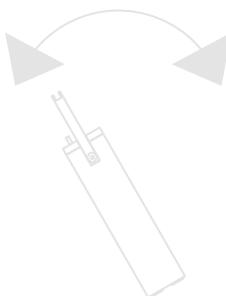
OB-4は、聴いている音楽の内容をリアルタイムに解析し、自動的にビートを検出します。

これはbeat matchと呼ばれ、ループを作成する際に役立ちます。beat matchはデフォルトでオンになっています。

この設定は固定されており、ループがアクティブなときにinputとplayをすばやくタップすることで、オンとオフを切り替えることができます。

ディスプレイの「auto」または「raw」という表示は、beat matchがオンかオフかを示します。

## バッテリーの状態



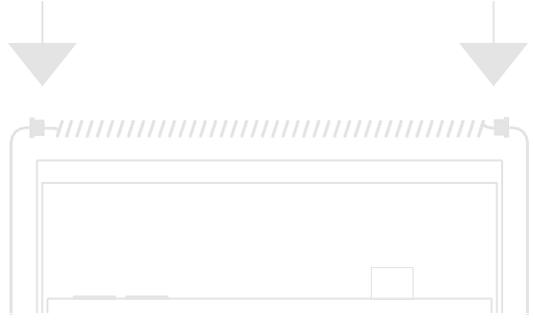
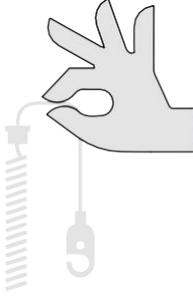
OB-4を前後に傾けることで、ディスプレイ上の電池の状態を確認することができます。

# アンテナ

OB-4には、ハンドルにアンテナが組み込まれています。



場所によっては、拡張アンテナを使用すると、より良い信号が得られます。



アンテナのループ端をハンドルノブの周りで締めます。通常、OB-4の左側が最適に機能しますが、いくつかの異なる位置を試して、環境で最適に機能する場所を確認してください。

適切な位置を見つけたら、内蔵ハンガーを使用してアンテナを吊るす場所を見つけます。

外出先で聴く場合は、アンテナの巻き取り部分をハンドルに差し込みます。ゴム製のストッパーをつかみ、アンテナを伸ばしてはめ込み、ストッパーをハンドルに挿入します。

アンテナは通常、OB-4から完全に伸ばされている場合に最適に機能します。

アンテナを金属物や配線から遠ざけてください。

## orthoplay app

Orthoplayは、OB-4およびOD-11をコントロール、設定するためのソフトウェアです。

Orthoplayを使用して、OB-4をリモート制御したり、OSを更新します。

orthoplayのアクセス

- ios  
• [orthoplay iosアプリ](#)を使用します。
- android  
• [orthoplay androidアプリ](#)を使用します。

スピーカー名

スピーカーの下にある名前をタップして、任意の名前を入力します。

## ortho remote

bluetoothモードを選択して、ortho remoteとペアリングします。点滅する青いLEDは、OB-4が接続の準備ができていることを示します。

接続すると、LEDが青色に点灯します。

詳細については、[ortho remoteガイド](#)をご参照ください。

### 重要な安全注意事項

- 以下の指示をお読みください。
- これらの指示を守ってください。
- すべての警告に注意してください。
- すべての指示に従ってください。
- この装置を水の近くで使用しないでください。
- 乾いた布でのみ清掃してください。
- 換気口をふさがないようにしてください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
- ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。
- 極性付きまたは接地タイプのプラグの安全目的を無効にしないでください。極性プラグには2つのブレードがあり、一方が他方よりも幅が広がっています。接地タイプのプラグには2つのブレードと3つの接地ブレードがあります。安全のため、ワイドブレードまたは3番目のブレードが用意されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気技師に相談して、コンセントの交換を依頼してください。
- 特にプラグ、コンピュニエンスレプタクル、およびそれらが装置から露出するポイントで、電源コードをひっかけたり挟まれたりしないように保護します。
- 製造元が指定したアタッチメントアクセサリのみを使用してください。
- メーカーが指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、転倒による怪我を防ぐため、カートと装置の組み合わせを移動する際は注意が必要です。
- 雷雨の間、または長期間使用しない場合は、プラグを抜いてください。
- すべてのサービスを資格のあるサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグの損傷、液体のこぼれ、物体の落下、雨や湿気にさらされた、正常に動作しないなど、装置が何らかの形で損傷した場合は、修理が必要です。

警告: 火災や感電の危険を減らすために、本製品を雨や湿気にさらさないでください。製品を滴りや水しびがにさらさないでください。また、花瓶などの液体で満たされた物体が装置の上に置かれなないようにしてください。

警告: 主電源プラグアプライアンスカバーは切断装置として使用されます。切断装置は容易に操作できる状態を維持する必要があります。  
-正三角形内に矢印記号が付いたこの箱は、感電の危険を構成するのに十分な、絶縁されていない「危険な電圧」の存在をユーザーに警告することを目的としています。

警告: 感電の危険を減らすために、内部にはユーザーが修理できる部品はありません。カバー(または背面)を取り外さないでください。資格のある担当者にサービスを依頼してください。  
-正三角形内の！符は、アプライアンスに付属の資料に重要な操作および保守手順が存在することをユーザーに警告することを目的としています。  
火のともったろうそくなどの裸火源に置かないでください。  
マルチメディアシステムでの機器の正しく安全な設置と相互接続を確実にするための指示に従ってください。

この機器は、クラスまたは二重絶縁電気機器です。電気アースへの安全接続を必要としないように設計されています。  
この記号が付いた電気電子機器、部品、バッテリーは、通常の家庭の廃棄物と一緒に廃棄してはなりません。環境を保護するために、別々に収集して廃棄する必要があります。

fccステートメント

- このデバイスは、fcc規則のパート15に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。  
(1)このデバイスは有害な干渉を引き起こさないようにし、通信機/受信機が含まれています。  
(2)このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。  
2.コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。  
注: この機器はテスト済みであり、fcc規則のパート15に準拠したクラス2デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備での有害な干渉を引き起こす可能性を提供するように設計されています。

この装置は用途を生み出し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、機器の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。ユーザーは、次の1つ以上の方法で干渉を修正することをお勧めします。  
受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えます。機器と受信機の間隔を広げてください。  
受信機とは別の回路のコンセントに機器を接続してください。  
ディーラーまたは経験豊富なラジオテレビ技術者に相談してください。

c警告

このデバイスには、カナダのイノベーション科学経済開発省のライセンス免除ssIに準拠したライセンス免除送信機/受信機が含まれています。  
操作には、次の2つの条件が適用されます。  
(1)このデバイスは干渉を引き起こさない可能性があります。  
(2)このデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れる必要があります。  
cet  
appareilcontientdesémetteurs/récepteursexemptésdelicensel'aux rrs (rss) d'innovation, sciencesetdéveloppementéconomiquecanadaiに準拠しています。

この装置は用途を生み出し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、機器の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。ユーザーは、次の1つ以上の方法で干渉を修正することをお勧めします。  
受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えます。機器と受信機の間隔を広げてください。  
受信機とは別の回路のコンセントに機器を接続してください。  
ディーラーまたは経験豊富なラジオテレビ技術者に相談してください。

